

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成28年度取組の実績と課題等	平成29年度取組内容等	取組区分	担当課	
【基本方針Ⅰ】 子どもの読書機会の提供・充実と読書環境の整備・充実								
1	(1)	①	P31	【ブックスタート事業】 保護者に絵本を介した親子のふれあいについて伝えます。 絵本の紹介や読み聞かせ、市立図書館の利用案内の配付等を行い、保護者への啓発を行います。	月3回行われる4か月児健康診査において、中央図書館と連携し、絵本の無料配布や読み聞かせなどを行い、こどものブックスタートの大きなきっかけになったと考えられます。引き続き、中央図書館と連携し、啓発に取り組んでいきます。	中央図書館と連携し、4か月児健康診査の中でブックスタートのきっかけになる場を設け、引き続き啓発に取り組んでいきます。	継続	保健医療課
				配付冊数の少ない絵本1冊について見直しを行い、新しい絵本に差し替えました。	引き続き、保健医療課と連携し、啓発に取り組んでいきます。	継続	中央図書館	
2	(1)	①	P31	【子どもの読書に関する相談】 新刊や季節の本の案内、調べ物の支援等、家庭における読書活動を支援します。	特集本やテーマ別のリストを作成しました。 作成したリストを中央図書館ホームページにも掲載しました。	引き続き、問い合わせの多いテーマについてリストを充実させていきます。 ホームページに掲載しているリストの内容を精査し、より見やすいリスト作りに努めます。	継続	中央図書館
3	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 家庭における読書活動の役割について、保護者への啓発に努めます。	絵本の読み聞かせの方法などがわからない保護者が多く、絵本の読み聞かせ方法や絵本を通じた接し方などを伝える機会となり、家庭での読書活動を行うきっかけになったと考えられます。	乳幼児健康診査、家庭訪問等において、年齢に応じた読み聞かせ方法や絵本の使い方について伝え、家庭での読書活動のきっかけづくりとなるよう引き続き取り組んでいきます。	継続	保健医療課
4	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 絵本をよりに配付することで、保護者が本を選びやすくなるように図書の情報提供に努めます。	子ども主体に本を選ぶとアニメやキャラクター志向になりがちですが、ブックリストを活用することで歳児に合った絵本を選択する目安になり、家庭での読書活動を行うきっかけになったと考えられます。	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して、保護者へ読み聞かせの大切さを伝えていきます。また、子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を引き続き実施します。	継続	保育幼稚園総務課
5	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 学校だよりや図書館だよりで読書についての記事を掲載します。 読書感想文を夏休みの宿題にすることで、家庭での読書を推進するよう指導しています。	平成28年度全国学力・学習状況調査では「授業時間以外に読書を全くしない」と答えた本市小学6年生は21.8%（府平均26.9%、全国平均20.6%）、中学3年生は35.7%（府平均46.9%、全国平均37.2%）でした。小中ともに不読率が府平均よりも少なく、中は全国よりも少ないですが、小は全国よりも多いことが課題であるといえます。	引き続き、学校だよりや図書だよりの活用、読書感想文や読書感想画の取組みを通して、家庭での読書を推進するよう指導していきます。	継続	学校教育推進課
6	(1)	①	P31	【家庭での読書活動の啓発】 ブックリストを作成し配付します。 読み聞かせの方法や本の選び方の参考となるような講演会や講座を開催し、保護者への働きかけに努めます。	年2回ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作成・配布しました。今年度からは市内の高等学校の生徒にも配付しました。また、親子で参加できる読書講座を、各図書館で5回開催しました。	今年度も年2回ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作成し、市内の保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・その他子育て関連施設に配付します。親子で参加できる読み聞かせ講座を2回、大人を対象にした子どもの本の読書講座を3回、各図書館で開催します。	継続	中央図書館
7	(1)	②	P32	【保育所・幼稚園における読書の習慣化への取組】 年齢に応じたおはなしや絵本、紙芝居等を取り入れた保育を行うほか、絵本だよりの配付や本の貸出を通じて、家庭への情報提供や読書の習慣化を図ります。	読み聞かせを継続的に実施し、子どもその時間を楽しみにしています。絵本の貸し出しについては、保育所・幼稚園の実情等において回数には違いますが、家庭において親子で絵本にふれる楽しさを実感してもらうことを目的に実施しました。 園庭開放日には、来園した未就園児にも絵本の読み聞かせや、貸し出しを行いました。	保育所、幼稚園において子どもへの読み聞かせを引き続き実施します。（1日1冊以上） 絵本の貸し出しを実施し、家庭において親子で楽しむ機会を啓発します。	継続	保育幼稚園総務課
8	(1)	②	P32	【小・中学校における読書の習慣化への取組】 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアが連携し、学校図書館を活用した取組の充実を図ります。 日頃から様々な形で本に触れる機会を設けることで、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。	小・中学校全校に配置している学校図書館支援員を対象に、学校図書館支援員連絡会を年間3回開催し、学校図書館の充実を図りました。また、学校図書館ボランティア対象に絵本読み聞かせの講習会を開催しました。現在、一斉読書は小・中学校46校全校で取り組み、読み聞かせも小学校32校全校で取り組んでいます。	引き続き、学校図書館を活用した取組の充実を図るとともに、一斉読書や読み聞かせ等の取組から、読書活動の習慣化に向けた指導を行います。 また、学校図書館ボランティア対象に絵本読み聞かせの講習会を行います。	継続	学校教育推進課
9	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 保育所では、全体や小グループでの読み聞かせを実施する、1対1での読み聞かせに努めるなど個別の状況に応じて対応しています。	保育の場面や個の特性に寄り添い、どの子どもも絵本を楽しめるよう支援しながら、読み聞かせの実施をしました。	全体での読み聞かせと共に、個に応じて興味のある絵本を1対1で楽しむ対応をします。	継続	保育幼稚園総務課
10	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 司書教諭連絡会等において障害のある子どもたちの読書状況について情報交流を行い、効果的な指導方法について研修機会をつくります。	司書教諭連絡会を年間2回開催し、情報交流や研修の機会をつくりました。	引き続き、司書教諭連絡会等で、情報交流や研修の機会をつくります。	継続	学校教育推進課
11	(1)	②	P33	【障害のある子どもへの読書機会の提供】 障害児通所施設等で、療育の一環として子どもが興味を持った絵本の読み聞かせを行い、それぞれの子どもに応じた読書機会を提供します。	自由あそび時に、それぞれの子どもが集中できるようバージョン等で区切り、興味のある絵本を選んで読み聞かせをしました。また、設定保育や行事等においても、子どもの視覚に働きかけるよう、紙芝居やペープサート等を活用しながら、読み聞かせの機会を設定しました。	引き続き、子どもたちの発達課題とそれぞれの興味関心に合わせた絵本を選択し、子どもの集中しやすい環境を整えながら、絵本の読み聞かせを継続します。	継続	子育て支援課
12	(1)	③	P33	【「おはなし会」の充実】 図書館で年齢や季節に応じた「おはなし会」を実施します。 市立保育所・幼稚園・小・中学校において、おはなし会ボランティアによるおはなし会を実施します。	中央図書館・分館・分室ではおはなし会を実施し、多くの参加がありました。小学校でのおはなし会の開催は、前年度と同様にあり、おはなし会ボランティアを派遣して絵本の読み聞かせやストーリーテリングを実施しました。その他、市内の子育てイベントでもおはなし会を実施しました。	引き続き、各図書館でおはなし会を実施するとともに、市立の学校・園や市内のイベント等におはなし会ボランティアを派遣します。 新たにおはなし会ボランティアを募集し、入門講習会を開催します。	拡充	中央図書館
13	(1)	③	P34	【人形劇・工作等行事の開催】 図書館を利用したことのない子どもたちにも来館してもらえるよう、人形劇などの行事を行います。	人形劇は、中央図書館1回、分館で4回実施し、計412人の参加があり好評でした。昨年度から好評であったシルバードバイザーによるおもちゃづくりを各図書館で5回開催しました。また、各図書館で工作等の行事を21回開催しました。	人形劇を、中央図書館1回、分館で4回実施します。また、各図書館で工作等の行事を開催します。	継続	中央図書館
14	(1)	④	P34	【川端康成文学館における読書機会の提供・充実】 小・中学生向け文学講座を開催し、読書機会の提供に努めます。	小中学生対象の夏休み企画「川端康成って知ってる？」を開催し、従来の子供向けパネル展示、アニメ鑑賞、作家体験に加え、クイズを充実させ学芸員によるミュージアムトークを行うことで、楽しみながら川端康成への理解を深め、読書のきっかけとなるよう図りました。プラバンづくりでは、康成の似顔絵やベットの犬・猫のイラストを用いることで、康成への親しみを感じられるよう工夫しました。	夏休み期間中に小・中学生を対象とした企画展を開催し、川端康成の生涯を分かりやすく示したパネルの展示、「伊豆の踊子」のアニメ鑑賞、書斎での作家体験、クイズ、キャラクタートーク、プラバンづくりなどを通して、川端康成に親しみをもち、読書のきっかけとなるよう努めます。作家体験には着物かつらで川端康成に扮装する「なりきり康成さん」を取り入れ、より楽しめるものとします。	継続	文化振興課
15	(1)	④	P34	【公民館における読書機会の提供・充実】 講座等の機会を活用して絵本の紹介や読み聞かせを行い、読書機会の拡大に努めます。	5箇所の公民館で読み聞かせ会が開催され、中央図書館との連携により、読み聞かせボランティアの派遣等支援を受け、実施しました。 次年度には、さらに増やすよう、努めます。	読み聞かせ会開催の実施に向けた啓発の機会を設け、前年度より多くの公民館で開催されるよう、取り組みます。	継続	社会教育振興課
16	(1)	④	P34	【青少年センターにおける読書機会の提供・充実】 青少年センター主催事業において、読書機会の提供に努めます。	青少年センターフェスタにおいて「紙芝居マラソン」を開催し、親子で本に親しむ機会を提供することができました。	青少年センター主催事業において、子どもと保護者がともに楽しめるよう、読書機会の提供に努めます。	継続	青少年課

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成28年度取組の実績と課題等	平成29年度取組内容等	取組区分	担当課	
17	(2)	①	P35	【子どもの本のコーナーの充実】 各施設に設置されている子どもの本のコーナーの充実に努めます。	絵本の表紙が見える配架場所を設け、目に留まりやすいようにしました。	引き続き、児童書・絵本の充実に努め、配架も工夫をしていきます。	継続	人権・男女共生課
				新子育て支援交付金優先枠がこども読書活動関連事業で活用できることを関係課に周知しました。 本のコーナーに、冊子「絵本のある子育て」を配架し、読書を活用した子育てのきっかけ作りができるよう努めました。	平成28年度に取り組んだ「関係課への交付金活用の周知」と「本のコーナーへの冊子（絵本のある子育て）の配架」については引き続き継続して取り組みます。本のコーナーに、おはなし会の案内や図書館開館日カードを配架し、子どもが本に触れる機会を増やすよう努めます。	継続	こども政策課	
				子どもの興味関心のあるものや、保育者が精選した絵本を計画的に購入し、コーナーの充実に図りました。また、季節や子どもの遊びや生活等に合わせ、さらに興味関心が深まるよう環境整備に努めました。	配分予算を有効活用し、子どもの興味関心のある絵本、各歳児や季節に応じた絵本を精選するなど引き続きコーナーの充実に図ります。	継続	保育幼稚園総務課	
				学童保育指導員向けに「よみきかせ」の研修を実施しました。図書館の作成したブックリストを各学童保育室に案内し、教室予算で購入するように促しました。人権・男女共生課と連携し、出前よみきかせを活用しました。	引き続き、図書館の作成したブックリストを各学童保育室に案内し、教室予算で購入するように促します。また人権・男女共生課と連携し、出前よみきかせを活用します。	継続	学童保育課	
				各公民館の現状を把握し、環境の整備について検討しましたが、利用者への貸室という利用状況と午前中しか受付の人がいないなど鑑みると現状は厳しい状況です。	引き続き各公民館の現状を把握し、環境の整備について検討していきます。	継続	社会教育振興課	
				絵本を購入し、幼児を対象とした本の充実に図りました。	年齢等に応じた図書を計画的に購入することにより、子どもの本の充実に図ります。	継続	青少年課	
				本を配置することで、相談の待ち時間に保護者と子どもが本を通じて交流できる場を設定することができました。	引き続き、教育相談待合室における子どもの本の充実に努めます。	継続	教育センター	
18	(2)	②	P36	【子どもの本の選定・収集の充実】 子どもたちが来なくなる学校図書館づくりのため、調べ学習・教科関連図書の収集に努め、蔵書の充実に努めます。	各学校において子どものリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実に図りました。物流サービスについては、年間425回、11576冊の活用がありました。（前年度は年間399回、11511冊）	引き続き、子どもからのリクエスト等も考慮しながら、蔵書の充実に図るとともに、物流サービスを活用し、他校や公共図書館の図書も活用します。	継続	学校教育推進課
19	(2)	②	P36	【学校図書館運営体制の充実】 学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携し、学校図書館の利用促進を図る取組を進めます。	学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、市立図書館職員による学校図書館の見学・アドバイスを行いました。また、学校図書館支援員連絡会において、中央図書館及び各分館の児童書担当者が参加し、アドバイス等を行いました。	引き続き、学校図書館支援員・司書教諭・学校図書館ボランティア等が連携するとともに、市立図書館職員による研修や学校図書館の見学・アドバイスもを行い、学校図書館の運営体制の充実に図る取組を進めます。	継続	学校教育推進課
20	(2)	③	P37	【子どもの本の選定・収集の充実】 計画的に図書の購入を行い、資料の充実に努めます。 中学・高校生を対象とした一般書についても資料の充実に努めます。	計画的な図書の購入について継続して実施しました。	引き続き年齢に応じた資料の充実に努めます。	継続	中央図書館
21	(2)	③	P38	【子ども向け広報の充実】 ホームページやちらしなどの多様な媒体により、利用案内及び行事案内を充実させます。	子ども向けの行事について、ちらしやポスターで告知を行いました。ちらしは市内の学校・園や子育て支援施設等にも配付しました。図書館ホームページの子ども向けのページを活用し、年齢に合わせた行事のお知らせや、本の紹介などを行いました。	引き続き、ちらしやポスターによる広報を行うとともに、図書館ホームページの子ども向けのページを活用し、年齢に合わせた行事のお知らせや、本の紹介などを行います。	継続	中央図書館
22	(2)	③	P38	【すべての子どもが利用しやすい環境づくり】 障害のある子どもや、日本語を母国語としない子どもも図書館を利用しやすいよう、環境の整備に努めます。	点字絵本やさわる絵本の収集、提供等を行うとともに、児童向け点字図書の特集を行いました。引き続き環境の整備について検討が必要です。	点字絵本やさわる絵本の収集、提供等を行います。外国語で書かれた絵本について、収集や整理体制の整備について検討を行います。	継続	中央図書館

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成28年度取組の実績と課題等	平成29年度取組内容等	取組区分	担当課
【基本方針Ⅱ】 学校・地域等と市立図書館との連携による推進体制の整備							
23	(1)	①	P39 【保育所・幼稚園への団体貸出の利用促進】 中央図書館が保育所・幼稚園の読み聞かせ等に利用する本の団体貸出を実施します。	園長会で団体貸出について周知を行いました。従来から行っていた、書庫からの長期貸出に加え、一般室・児童室の開架からの貸出ができる短期貸出を実施しました。	引き続き周知を行い、団体貸出の利用促進に努めます。	継続	中央図書館
24	(1)	①	P39 【見学の受け入れ】 中央図書館と4つの分館で、小学校・保育所・幼稚園からの見学の受入をし、来館した子どもたちに利用案内、関係見学を実施します。資料を豊富に揃えて、読書や調べ物に利用できることなどを伝えて利用促進を図ります。	中央図書館及び分館へ、見学を実施しました。	小学校・保育所・幼稚園から図書館への見学を実施します。図書館を紹介し、利用促進につなげます。	継続	学校教育推進課
				25校・28回・2,012人の図書館見学の受け入れを実施しました。図書館の利用方法などを伝え図書館に親しみを持ってもらいました。図書館内ツアーを11回実施し、大人と子どもを合わせて39人の参加がありました。	引き続き、各図書館とも、図書館見学の受け入れを実施し、図書館に親しんでもらう機会とします。	継続	中央図書館
25	(1)	①	P39 【職場体験の受け入れ】 中央図書館と4つの分館で、中学校からの生徒を受け入れ、貸出・返却・書架整理等の業務等を体験してもらい、市立図書館を身近に感じ、親しんでもらう機会にします。	中央図書館及び分館で、職場体験を実施しました。	中学校から図書館への職場体験を実施します、図書館に親しむ機会にします。	継続	学校教育推進課
				10校・26回・64人の職場体験を受け入れ、多くの本にふれてもらいました。ホームページに中学生のおすすめ本ページを作成し、中学生におすすめ本を1冊選んで、紹介してもらうことで、より本に親しむ機会となりました。	引き続き、各図書館とも中学生の生徒を受け入れ図書館の職場体験をしてもらい、図書館に親しんでもらう機会とします。	継続	中央図書館
26	(1)	①	P40 【市立図書館利用の促進】 読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。	学校と市立図書館とで連携できることをまとめた「学校と公共図書館ネットワークプラン」を作成し、校長会、司書教諭等連絡会、学校図書館支援員連絡会にて周知を行いました。	引き続き、読書活動においても小・中学校間の連携を進め、研修会を持ち、市立図書館の利用の周知を行い、学校と市立図書館との連携を深めます。学校と市立図書館とで連携できることについての周知を様々な場面で行います。「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催し、全国コンクールにも応募します。	拡充	学校教育推進課
				小学校の学校図書館を訪問し、現状把握や相談に応じました。学校図書館支援員の連絡会などに協力しました。	学校図書館への訪問や学校図書館支援員の研修会等への協力などに取り組みます。	継続	中央図書館
27	(1)	②	P40 【学校への団体貸出の利用促進】 学校の調べ学習等に利用する本の団体貸出を実施します。物流システムを活用し、利便性を高めます。	団体貸出の手順を学校に周知し、その結果、中央図書館と小・中学校を巡回する物流サービスが、425回利用されました。(前年度は399回)	作成されたマニュアルを活用し、団体貸出の充実を図ります。	継続	学校教育推進課
				従来から行っていた、書庫からの長期貸出に加え、一般室・児童室の開架からの貸出ができる短期貸出を実施しました。長期貸出については貸出図書配送に物流便を活用しました。	引き続き、周知していきます。	継続	中央図書館
28	(1)	②	P40 【市立図書館の司書による情報提供】 市立図書館の司書が、学校図書館教諭及び学校図書館支援員に情報提供を行い、市立図書館を活用した取組を支援します。	学校訪問の際は、学校図書館支援員に直接蔵書のことや本の整理方法などの相談に応じました。学校図書館支援員交流会で意見交換をしました。	引き続き、学校教育推進課と連携して、司書教諭及び学校図書館支援員からの相談への対応や、研修会への協力など取り組んでいきます。	継続	中央図書館
29	(2)	①	P41 【生涯学習出前講座の実施】 市立図書館の司書が、読み聞かせについての講座や図書の修理実演、市立図書館の利用案内等を行います。	小学校1校に図書館職員が訪問し、学年別のおすすめの本について講座を実施しました。	引き続き、読み聞かせについての講座や図書の修理実演、市立図書館の利用案内等の出前講座を行います。	継続	中央図書館
30	(2)	①	P41 【ブックリストの配付・活用】 児童書紹介ブックリストを配付し、図書館を利用したことがない子どもや保護者にも、読書活動の大切さをお知らせします。	ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作成し、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付しました。また、ホームページにも掲載しました。	引き続き、ブックリスト「おもしろい本みつけた」を作り保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の児童・生徒に配付します。また、ホームページにも掲載します。	継続	中央図書館
31	(2)	②	P41 【地域団体・ボランティアのネットワークづくり】 市立図書館が、子育てサークル等、子どもの読書にかかわる地域団体・ボランティア間の情報交換・交流を図り、連携・協働して子どもの読書活動を推進します。	公民館等関係課に照会し、把握する必要があります。	公民館等関係課に照会し、把握して情報収集していきます。	継続	中央図書館
32	(3)	—	P42 【児童サービス担当司書の養成】 児童サービスに携わる司書を養成するとともに、研修の充実を図り、子どもの読書活動を推進する取組を行います。	大阪府立中央図書館等の研修に児童室担当職員が参加しました。	引き続き、職員のスキルアップを図るため、研修などに参加し、他市の情報や取組などの情報収集に取り組みます。	継続	中央図書館
33	(3)	—	P42 【司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上】 司書教諭・学校図書館支援員・学校図書館ボランティアの知識技能の向上のため、定期的に研修を行い、情報交換を行います。	司書教諭連絡会を2回、学校図書館支援員連絡会を4回、図書館ボランティア研修会を1回行うとともに、学校図書館支援員連絡会では、中央図書館の職員による実技講習も行いました。	引き続き、定期的に連絡会・研修会を開催し、知識技能の向上を図ります。また、学校図書館支援員連絡会で中央図書館の職員による研修を実施します。	継続	学校教育推進課
34	(3)	—	P42 【保育士・幼稚園教諭の読み聞かせ技術の向上】 園内における読み聞かせの時間をさらに充実したものにすため、保育士・幼稚園教諭の技術向上を図る研修を行います。	園内研修を通して職員間での読み聞かせ技術の意見交換や情報共有を行いました。また、自主的に研修会等へ参加し、新しい絵本の情報収集や技術の向上に努めました。	研修会を実施し、絵本の選定の仕方や読み聞かせの技術向上をはかります。また、園内研修を通して職員間で意見交流や情報交流を行うことで、園内における読み聞かせをさらに充実したものにしていきます。	継続	保育幼稚園総務課
35	(3)	—	P42 【おはなし会ボランティアの技術向上】 ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的実施します。	おはなし会ボランティアの研修会を実施しました。年6回の定期練習会の他自主練習会にも取り組み技術向上に努めました。	引き続き、ボランティアの講習会及び技術向上のための研修会を定期的実施します。	継続	中央図書館

No.	計画の体系 における番号	計画 ページ	計画の実現に向けた取組	平成28年度取組の実績と課題等	平成29年度取組内容等	取組区分	担当課	
【基本方針Ⅲ】 子どもの読書活動への理解や関心の普及・啓発								
36	(1)	—	P43	【「子ども読書の日」の普及】 「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて行事等を開催し、読書活動の推進を図ります。	「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて工作行事とおはなし会を開催しました。	引き続き、「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」に合わせて行事等を開催し、読書活動の推進を図ります。	継続	中央図書館
37	(1)	—	P43	【講習会・読み聞かせ会の開催】 幼稚園では、保護者を対象に講習会や読み聞かせ会などを園行事の中に組み込みます。	お話ボランティアによる読み聞かせを通して、お話のイメージを膨らませ、より絵本に親しむことができました。	引き続き、図書館ならびに地域ボランティアの協力を得て、実施します。	継続	保育幼稚園総務課
				学童保育課と連携して、夏休みに4か所の学童保育室へ読み聞かせに行きました。また、いのち・愛・ゆめセンターは前年に引き続き1か所行きました。利用拡充が課題です。	チラシの配付時期を早め、4月の学童支援員対象の会議で配付してもらいました。今年度は簡単なワークも取り入れて、絵本とともに子どもたちに自分を大切にすることを伝えていきます。	拡充	人権・男女共生課	
38	(1)	—	P43	【講演会・講座の開催】 子どもの読書に関する講演会や講座を開催し、子どもの読書活動の意義について、啓発を図ります。	講師を招き、親子で参加できる読書講座を各図書館で5回開催しました。計123人が参加しました。	親子で参加できる読み聞かせ講座を2回、大人を対象にした子どもの本の講座を3回、各図書館で開催します。	継続	中央図書館
				1箇所の公民館では、子供向けではなく、大人向けの読み聞かせ会を開催し、地域に向けた啓発としてのユニークな取り組みを行いました。次年度に向けて、他の公民館でも、取り組んでほしいと考えています。	前年度に、ユニークな取り組みをされた公民館になって、複数の公民館でも取り組んでもらえるよう、啓発に努めます。	継続	社会教育振興課	
				生涯学習センターにおいて、夏休み期間中に、中学生以下とその保護者を対象に、子どもが描いた絵をハードカバーの絵本にする講座を開催し、子どもの読書活動の啓発を図りました。	引き続き講座を実施し、子どもの読書活動の啓発を図ります。	継続	文化振興課	
39	(1)	—	P44	【本市にゆかりのある作家と作品の紹介・普及】 川端康成文学館、富士正晴記念館、宮本輝ミュージアムの関連施設が連携して、子どもたちにわかりやすい情報提供に努めます。	夏休み期間中に富士正晴記念館のパンフレットを設置するなど、関連施設と連携し周知に努めました。また、11月には富士正晴記念館・宮本輝ミュージアムとともに、耳原小学校区青少年健全育成運動協議会主催の三館探訪スタンプラリーに協力し、小学生が茨木ゆかりの作家に親しむ機会を提供しました。	引き続き、関連施設と連携し、周知に努めます。	継続	文化振興課
				イベントのちらしを各施設に設置するなど、情報提供を行いました。中央図書館ホームページに、川端康成文学館・宮本輝ミュージアムのホームページリンクを作成しました。	引き続き、関連施設と連携し、周知に努めます。	継続	中央図書館	
40	(2)	—	P44	【ブックリストの作成・配付】 乳幼児から中学生までの年齢に応じたおすすめの本を紹介するブックリストを引き続き作成・配付します。今後対象を高校生まで広げたブックリストについても作成し、中学・高校生に対する情報提供の充実を図ります。	ブックリストの対象を高校生まで広げ、児童室担当職員と成人室担当職員が連携して選書を行いました、ブックリストは市内の高等学校にも配付しました。	引き続き、ブックリスト「おもしろい本みつけた」の作成・配付を行います。中高生向けの図書の選定については、成人室担当職員も参加し、中高生の興味に沿った選書に努めます。	継続	中央図書館
				茨木市人権教育研究協議会男女共生教育専門部会とローズWAMの連携講座で、内容に合わせたブックリストを配付しました。	引き続き、教職員対象の講座で、男女共生をテーマにしたブックリストの配付を行います。	継続	人権・男女共生課	
				親子講座でのブックリスト配付により、行事参加者に図書コーナーの存在や貸出ができることを周知し、図書利用カードの新規作成につながりました。	引き続き、親子講座でのブックリスト配付を行います。	継続	人権・男女共生課	
41	(2)	—	P45	【絵本だよりの作成・配付】 絵本の内容紹介や、子どもたちに伝えたいことを盛り込んだ絵本だよりを発行し、保護者への啓発に取り組めます。	年齢に応じたお勧め絵本の紹介や絵本だよりの発行を通じて、図書選択の幅を広げ、さらに関心や楽しみが深まるよう保護者への情報提供に努めました。	ブックリストの活用や文書の発行、掲示物の工夫などを通して、保護者へ読み聞かせの大切さを伝えていきます。また、子どもの興味や関心が高い絵本等の情報提供を引き続き実施します。	継続	保育幼稚園総務課